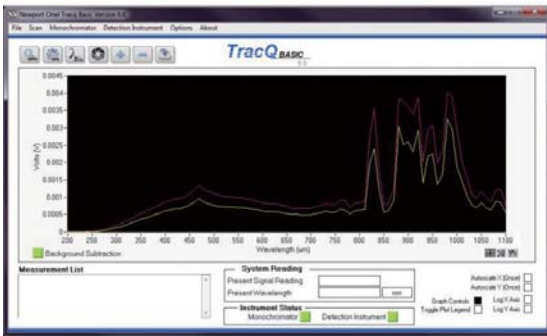


# TracQ™ Basicデータ取得および放射分析ソフトウェア

## TracQ™ Basic Data Acquisition and Radiometry Software



- Oriel™のモノクロメータ、スペクトログラフ、さまざまな検出システムを制御
- さまざまな放射分析測定の実行
- Windows™ 7 32ビットおよび64ビットオペレーティングシステムに適合

多くの一般的な分光計測には、検出装置と光源の連携操作、およびデータ取得と数値演算が必要です。すべてのお客様に、ご自分の用途に適したカスタムルーチンのプログラムを作成する時間があるわけではありません。そのため、TracQ Basic™は、使い勝手のよいソフトウェアパッケージにカスタマイズ可能な計測器制御、データ取得、およびデータ処理を組み合わせたソリューションを提供します。TracQ Basicは、Orielのモノクロメータおよび多数の一般的な検出装置に適合します。

| モデル              | 仕様                                   |
|------------------|--------------------------------------|
| TRACQ-BASIC-V066 | TracQ Basicデータ取得・分光分析ソフトウェア、バージョン6.6 |

**Oriel**  
INSTRUMENTS  
A Newport Company

## X-Y-Z フォーカス用レンズ アセンブリ

### X-Y-Z Focusing Lens Assemblies



77259 XY-Z フォーカス レンズ アセンブリ  
(71305 スペーサ チューブを挟み、77720 モノクロメータにマウント)

光源を小さな標的に正確に結像させる必要がある場合には、3種類のアセンブリから1つを選び使用します。Orielモノクロメータやスペクトログラフのスリット、ファイババンドル、キューベット上に光源を再結像させるのに、これらは理想的なフォーカスアセンブリです。これらのフォーカスアセンブリを使用して、モノクロメータの出力をディテクタやファイバ上に結像させることもできます。

### 2種類のモデルが利用可能

フォーカスアセンブリには2つのモデルがあり、両モデルともX、Y、Z調整が可能です。それぞれのモデルには少なくとも1つのレンズが必要です。フォーカスアセンブリにはレンズは付属していません。したがって、発注情報の表に基づき適切な焦点距離をもつレンズを選択する必要があります。

- 光源をモノクロメータの入射スリットに結像
- モノクロメータの出射スリットをディテクタまたは光ファイバ上に結像
- X-Y-Z イメージ調整

#### モデル 77260

- モノクロメータ出力をディテクタやファイバ上に結像させるのに最適
- ファイバホルダと手動シャッタを統合
- 20 mmの開口部

77260には2つのレンズが収容されます。1つは「集光レンズ」として機能し、光源またはモノクロメータの出射部からの光を平行化し、もう1つのレンズは平行光をフォーカスします(図1参照)。レンズ1は、XとY方向に±3 mmの調整が可能であり、小さな標的(すなわち、ファイババンドル)上に結像させるための正確な位置調整に使用します。レンズ2はZ(焦点)を2.9インチ(73.7 mm)の範囲で調整するために使用します。